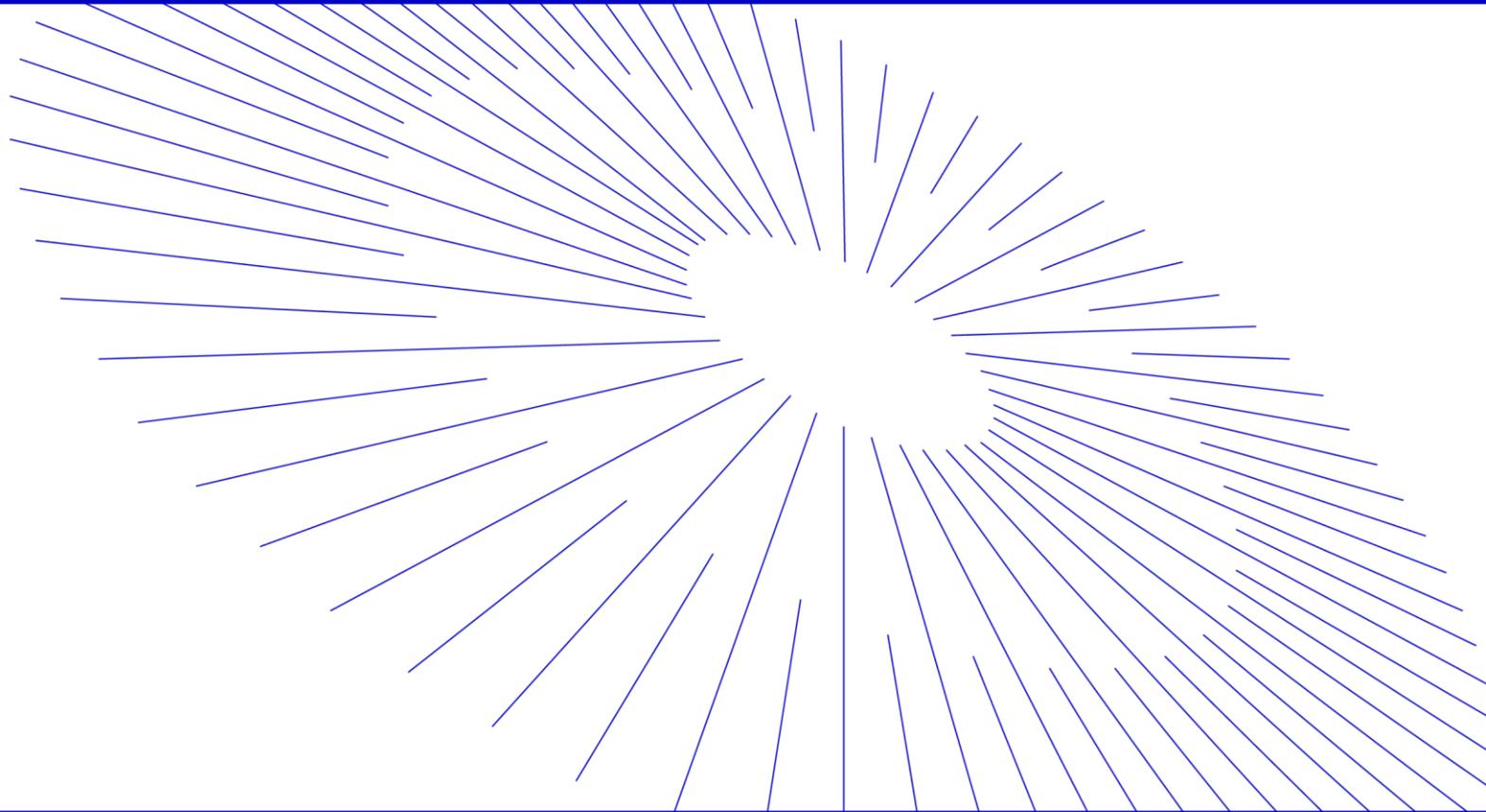


Smart Construction Quick3D 2023.5.19(予定)リリース版について



EARTHBRAIN

Smart Construction Quick3Dのアップデートについて、以下の日程・内容にてリリースを致します。

- モバイルアプリ：アプリの自動アップデートをONにしていない場合は、App-Storeにて手動でアップデートしてください。
- Webアプリ：本リリース内容については自動的にアップデートされ、ご利用者並びにご利用中のデータにも影響はございません。

日程：日本時間 5月19日(金)(予定)

20:00～22:00(リリース作業中には、一時的にアプリが使えなくなります。)

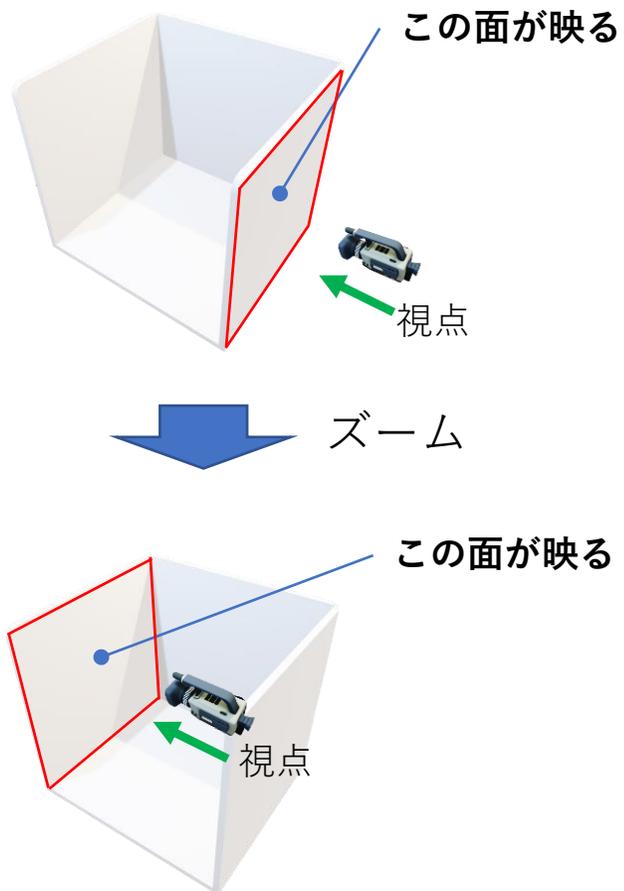
NO	対象機能	概要	詳細
1	内部カメラ (P.4にて詳細説明) New	新機能追加です。 閉じた点群の内部に視点を移動させることができるようになりました。	点群詳細画面でズームした際に、点群をすり抜ける対応をいたしました。これにより空間がある点群の内部に視点を移動できるようになりました。
2	座標系変換 (P.5にて詳細説明) New	新機能追加です。 作成した点群の座標系を変換する機能を実装しました。	作成した点群の絶対位置は、通常では「UTM+楕円体高(もしくは標高)」の座標系で表現されます。 この座標系を、任意の別の座標系の値に変換する機能をご用意いたしました。 操作方法等の詳細は、リリース時に ユーザーガイド を更新致しますので、そちらをご参照願います。
3	座標変換 (ヘルマート変換)	不具合対策です。 高負荷状態でヘルマート変換を実施した場合に失敗する現象を解消しました。	SC Quick3Dを多くの利用者が利用している状態でヘルマート変換実施した場合に変換が失敗することがありましたが、変換に時間かかる場合はバックグラウンド処理で変換を実施するようにいたしました。
4	座標変換 (ヘルマート変換)	不具合対策です。 ヘルマート変換がタイムアウトした場合にメッセージが適切でなかった問題を解消しました。	左記の通り
5	点サイズ変更	機能改善です。 座標変換前から座標変換後に表示を切り替えた際に点のサイズを維持するように改善いたしました。	同じプロジェクトでLiDAR点群、座標変換前、座標変換後の点群の点サイズを切り替え時においても値を引き継ぐように変更いたしました。
6	平面積計測機能 (P.6にて詳細説明)	不具合対策です。 平面積計測時において、矩形選択時の選択点がずれる現象を修正しました。	詳細をP.6に掲載しております。

NO.	対象機能	概要	詳細
7	撮影軌跡表示機能	不具合改善です。 直前で表示されていた撮影軌跡が別の点群を表示した際に表示されてしまう問題を改善しました。	左記の通り
8	軸表示 (P.6にて詳細説明)	機能改善です。 表示している点群で軸表示が隠れないように改善いたしました。	詳細をP.6に掲載しております。
9	ヒートマップ表示 (P.7にて詳細説明)	機能改善です。 XYZ軸を非表示にする操作(既存機能)をした場合に、ヒートマップの表示領域を広げるようにいたしました。	詳細をP.7に掲載しております。
10	計測機能	不具合改善です。 距離計測の際に、計測始点&終点を選択した際に、点が無い中空を選択してしまうという不具合を解消いたしました。	本改善により、計測始点&終点はそれぞれ、必ず点群中のどれか一点を選択することができます。
11	撮影枚数	機能改善です。 撮影枚数が1000枚前後までの上限を緩和いたしました。	左記の通り

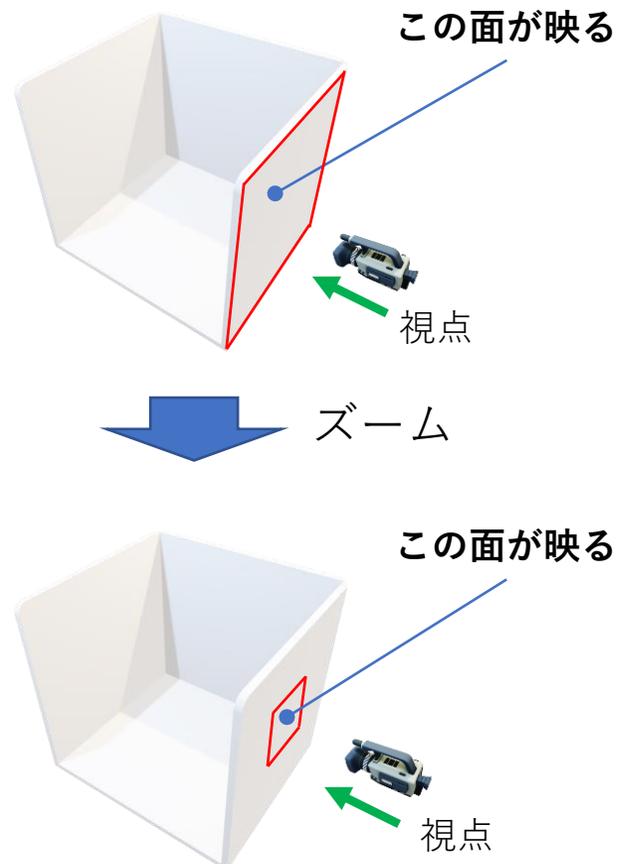
従来は、ズームしても、閉じた点群の内部は見ることはできませんでした。
 今回のアップデートにより、ズームしていくと、閉じた点群の中に視点が移動し、中の様子を見ることができるようになります。

※ 今回のアップデートにより、表示方式を「透視投影」と「平行投影」を選択できるようになっており、この機能は「透視投影」の表示状態でのみ有効です。

透視投影(今回追加)



平行投影(従来)



作成した点群の絶対位置は、通常では「UTM+楕円体高(もしくは標高)」の座標系で表現されます。この座標系を、任意の別の座標系の値に変換する機能をご用意いたしました。

- ※1 下表の(x1,y1,z1)と、(x1',y1',z1')は、同じ位置を表すが、値は異なることとなります。(座標系が変わるため)
- ※2 点群をLASでエクスポートした際に、この座標系を定義する情報は、当該LASファイルには含まれません。(LASファイルにエクスポートされる座標値は(x1',y1',z1')となりますが、「選択した座標系」である」という定義情報はLASファイルには含まれません)

点群生成直後	X		Y		垂直基準	
	値	座標系	値	座標系	値	座標系
	x1	UTM	y1	UTM	z1	楕円体高 or 標高



**座標系変換機能(New)を使用
任意の座標系を選択**

座標系変換機能 使用後	X		Y		垂直基準	
	値	座標系	値	座標系	値	座標系
	x1'	選択した座標系 ※2	y1'	選択した座標系 ※2	z1'	選択した座標系 ※2

No.6 下記内容を改善しております。

- 平面積計測で矢印の先端と矩形の角があっていない。
⇒矢印の先端と矩形の角が合うように改善。

改善前



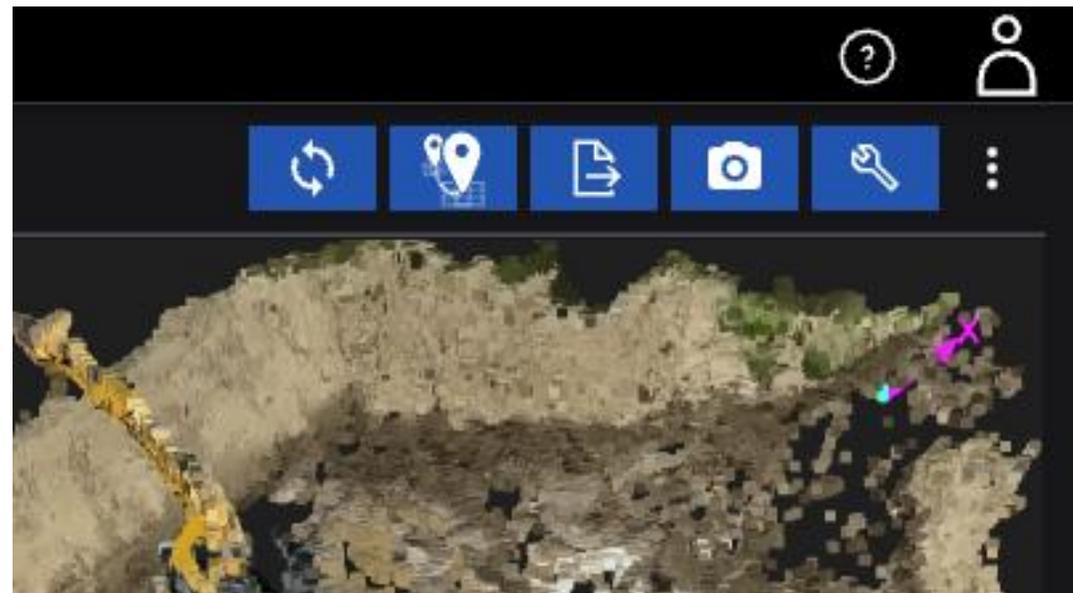
改善後



矢印の先端が選択点に合うように改善

No.8 下記内容を改善しております。

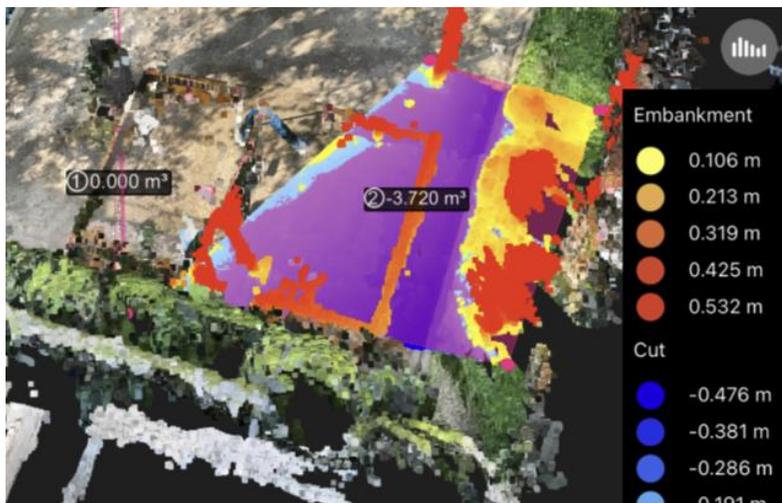
- XYZ軸が点群に隠れる。
⇒XYZ軸が点群に隠れないように改善。



No.9 下記内容を改善しております。

- XYZ軸を非表示にする操作(既存機能)をした場合に、ヒートマップの表示領域を広げるようにいたしました。

XYZ軸を非表示にする
(既存機能で実施可能)



ヒートマップ表示領域が
広がる

